

家具転倒防止対策を



日本共産党北区議会議員

さがらとしこ  
区政レポート

日本共産党議員団

2018.6.26NO.1578.

御相談はお気軽に

TELとも  
FAXとも  
**3905-0970**

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

## 観測史上初 大阪北部で震度6弱

の通学や通勤の時間帯でした。通学中の小学生がブロックベいの犠牲に。家具が倒れて...ライフラインの復旧にも時間がかかっています。心より、お見舞申し上げます。



・**ブロックベい 対策のおくれ** ◎文部科学省は、学校を囲む同様の壁について、耐震点検や対策調査の対象外だったことを明らかにしました。

・**通学路、ブロックベい 総点検急げ** ◎北区では19.20日に全校を緊急に点検。数か所に問題が



2017年度決算額が確定 主要5基金の累計は548億円

## 積立金過去最高に



小・中学校入学準備金の増額を予算の組みかえは、実現可能です。

生活保護費の横領問題  
6月22日付で区職員Aを懲戒免職  
区長は責任を重く受けとめ、給料を50%カット3ヶ月 6/29に議会へ条例案提出

6/25、区は議会に報告するとともに、次のように発表しました。

| 区長コメント

生活保護費を区から不正に支出させて着服するというような行為は、区職員としてあるまじき行為であり、区民の皆さまの信頼を著しく損なうものであります。改めて、区民の皆さま並びに関係各位に心から深くお詫び申し上げます。

当該職員及び管理監督職員について懲戒処分を行うとともに、職員の任命権者であり区の最高責任者である区長として、事件の責任を重く受け止め、自らの給料の50パーセントを3ヶ月間減額することとしました。

現時点では、事件の全容が明らかになっていないため、引き続き、内部調査を徹底するとともに、再発防止検討委員会を設置して、本年9月までに、事件の原因究明と再発防止策の検討結果をお示しできるよう、全力で取り組んでまいります。

平成30年6月25日

花川 與惣太 区長 減給10分の5 3ヶ月（平成30年7月～9月分）  
内田 隆 副区長 減給10分の3 3ヶ月（平成30年7月～9月分）  
依田 園子 副区長 減給10分の3 3ヶ月（平成30年7月～9月分）  
清正 浩靖 教育長 減給10分の1 1ヶ月（平成30年7月分）

6/19 日本共産党は代表質問での保育所とともに学童クラブの増設くらし応援のため基金の活用をあらためて求めました。  
◎学校教職員の負担軽減とスクールカウンセラーなど専門職員の正規化  
◎経済的に苦しい非婚のシングルマザーへの支援を北区としても  
■党区議団は、新年度の予算編成にあたり、5基金の中から目的を特定せず、福祉施策などに自由に使える財調基金から10億円程度を活用すれば、区民のくらし応援がもっとできると提案していました。

◎京友学援助の入学準備金の前倒し支給が、中学校につづき、ことしから小学校でも実現しました。  
小学生2万3,890円、中学校2万6,860円の支給ですが、実際には、入学準備だけではなく何か、部活動費用2万円（初期のみ）とか、夏服代もかかります。

▶ようやく、国の基準が改善されたところ、都も1年遅れて、ことしから財調単価が改善しているが、増額拡充が必要です。

## 86号線第2回 裁判は 7月10日(火)午後3時開廷です!



5月赤羽自然観察公園

### 専用バスがでます

バス利用の方はイトーヨーカドー裏に  
1時20分に集合してください。

バス代：往復1,000円  
バスに乗る際にお支払い下さい

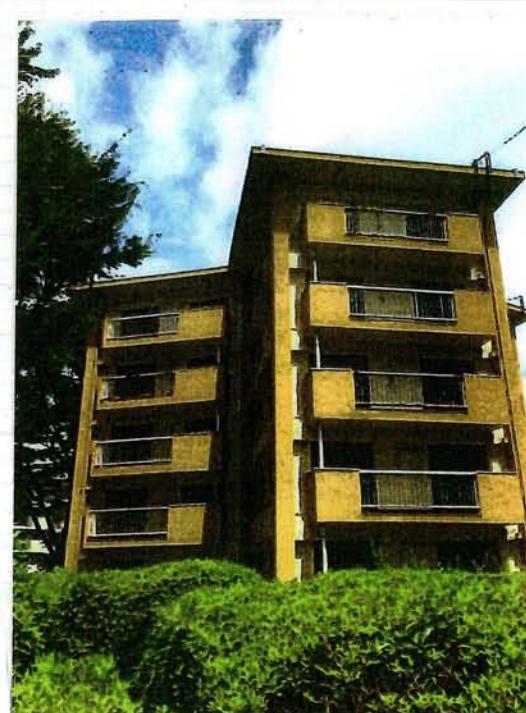


連絡先は  
FAX 3906-1373

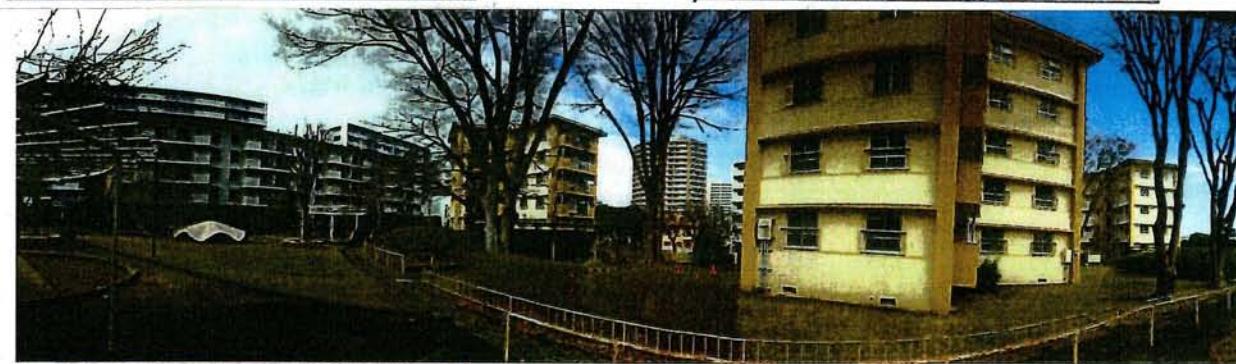
他地域の裁判情報 裁判を傍聴しましょう！

志茂1再法廷、口頭弁論	十条駅前開発第4回口頭弁論
○7月11日(水) 赤羽駅西口午後1時20分集合	○7月25日(水) 赤羽駅西口午後12時50分集合
○東京地裁 午後3時～	○東京地裁 午後2時30分～

全国で73万7千戸の公団住宅(UR賃貸住宅)の居住者を組織する全国公団住宅自治会協議会第45回定期総会が16・17の両日、愛知県犬山市で開催されました。総会には231人の代議員・オブザーバーが参加し、活発な論議が交わされました。「建て替えるによる傾斜賃貸で毎年家賃が上がり払いきれなくなってしまった団地を去る世帯が多い」と懇意に受け取りを拒否された(千葉県船橋市高根台団地)など家賃負担が重打切りで困っている人が機構法25条4項の家賃減免を申請したが、「そういう制度はない」と懇意で受け取りを拒否された」(千葉県船橋市高根台団地)



4 建築史的価値あるスターハウス(UR資料)



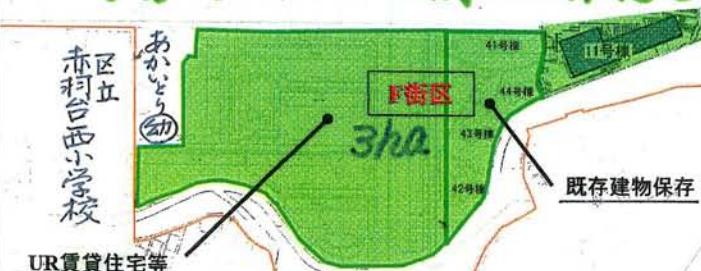
2018.6.26. 「さがらレポート」No.576.

家賃減免実現ぜひ  
公団自治協が総会  
「しづかん赤旗」より 6/18.

く居住の安定が保障されていないと訴える発言が相次ぎました。また「高齢世帯が増加し上層階への移動が困難になっている。エレベーターを早く設置してほしい」「団地の売却・削減・統廃合が進み不安」など安心して住み続けられる団地改善の要望が出されました。

総会では、家賃の減免と引き下げ、公団住宅の売却・削減・統廃合に反対、修繕・住環境の改善促進などの要請課題の実現のため、政府・各政党への働きかけを強め運動を進めました。日本共産党、自民党、公明党、立憲民主党、国民民主党、社民党のメッセージが紹介されました。

## UR赤羽台団地・建替え事業 2000年～2018年4期 200戸完成へ 南側・創出用地石街区にUR自ら賃貸住宅建設 スターハウス3棟を保存し、活用へ



4 UR資料の一部を紹介します。

○6月25日(月)の北区議会建設委員会で、UR赤羽台団地の建替え完了後の用地活用方針が、北区より報告されました。

○委員会では、日本共産党的八卷直人委員が、「URの発表は歓迎する」とし、次の点を求めました。  
 ①保存する建物の今後の活用には、住民や保育園などの意見をきかず  
 ②アパート層の定位、安心して住みづけられる家賃  
 ③人口増に対応する学校施設の整備についての協議などです。